

利根中央病院

第33号
2013年春号

病院 だより



企画発行 利根中央病院地域連携室
〒378-0053 群馬県沼田市東原新町1855-1
電話 0278-22-4325(直通) FAX 0278-22-4393
URL <http://www.tonehoken.or.jp/>

理念と方針

- 理念** 安心と安全 参加と協同
患者中心のチーム医療
- 方針** 救急体制の充実、いつも安全確認
絶やさぬ笑顔
診療情報提供と共に作る診療計画
広げよう人と人との結びつき
すすめよう健康づくりまちづくり



今号話題

副院長挨拶

利根中央病院 副院長 大塚 隆幸

2013年度新任医師紹介



今年度もどうぞ宜しく お願い申し上げます



利根中央病院
副院長 大塚隆幸

利根中央病院は今年3月に電子カルテを導入致しました。
メリットとして…

- ガイドラインなどを踏襲したスタンダードな医療を共有する
- 症例検討など医師や職員の研修に役立つ
- 開かれた医療情報を提供できる
- 医療制度に対処しやすい

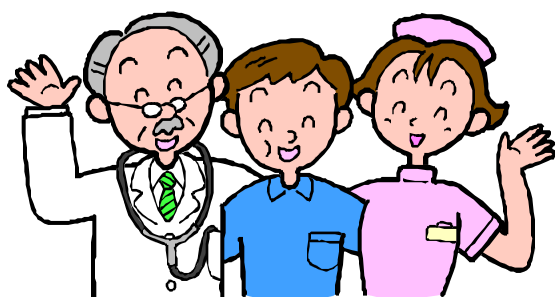
などが考えられ、踏み切りました。導入して1～2年間は各患者のサマリーを作成しなければならないため負担は大きいのですが、懸命な作業を続けています。

また、昨年度からの新病院建設問題も今年度は設計から着工を目指す段階になりました。県からの補助金を受けることは大きな励みになっていますが、建設業界は震災復興事業を優先する方針のために流動的な因子もあり、尚も紆余曲折が予想されます。いろいろな困難を乗り越えるべく、総力を上げて取り組みます。

新年度の医師体制は引き続き厳しいものになりました。当院の研修を終えて元の勤務先に戻る医師を含めて、実質2名減となります。救急体制は最後まで維持しますが、当地の医療機関との密接な連携がますます重要性を増したと思います。多方面で皆様にお世話になることでしょうし、またお役にたてることがあれば幸いに存じます。

研修医に関して、管理型は2名ですが、協力病院から研修される医師もいますので、常時2～3名の研修を行うこととなります。

新年度も諸問題が山積していますので、大変な年になりそうです。「ピンチをチャンスに」を合言葉に、自分たちの医療や職場を見つめ直し、改善点を上げ、患者様や利用者様に喜んで頂けるような病院・生協にしていく所存です。



新年度にあたり、皆様方の御健勝をお祈り申し上げます。

2013年度 新任医師紹介

「はじめまして」

外科 塚越律子

4月より利根中央病院に赴任してまいりました、外科の塚越律子です。昨年までは群馬県立がんセンターで乳腺外科をしておりました。こちらの病院では一般外科として利根沼田地区の医療に貢献できればと思っています。不安を取り除いて笑顔で治療が受けられるような診療を提供できるよう努めていきたいと思えます。よろしくお願ひいたします。

「よろしくお願ひ致します！」

小児科 大和玄季

4月より赴任となりました、小児科の大和です。出身は伊勢崎市で、前橋高校を卒業した後に群馬大学医学部を卒業している、生粋の群馬人です。まだまだ若輩者ではありますが、利根沼田地区の子供たちが健康で過ごせるように精一杯頑張りたく思います。どうぞよろしくお願ひ致します。

小児科 土屋敦子

4月より利根中央病院に赴任いたしました。利根沼田地域の子供たちの健康に少しでも役立てるよう頑張りたく思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

「よろしくお願ひ致します！」

整形外科 石綿 翔

4月より利根中央病院に赴任しました整形外科の石綿です。今回ご縁があつて利根中央病院で働かせていただくことになりました。今後は利根沼田地区の地域医療に貢献できるよう、日々の診療に努めたく思います。患者第一の医療をモットーに尽力しますのでよろしくお願ひいたします。

「はじめまして」

皮膚科 遠藤雪恵

4月より利根中央病院へ赴任してきました皮膚科の遠藤雪恵と申します。太田市出身で富山医科薬科大学(現富山大学)を平成7年に卒業後は、群馬にもどり、大学病院や県内の関連病院に勤務していました。今年度より、常勤医として利根中央病院で働かせて頂くことになりました。地域の皆様のお役に立てるよう頑張りたく思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

「はじめまして」

産婦人科 白石 知己

4月より利根中央病院に赴任となりました、産婦人科の白石です。高崎市生まれ、群馬大学卒業で、群馬大学附属病院や前橋協立病院に勤務していました。産婦人科医として地域の皆様のお役に立てるよう精一杯頑張ります。どうぞよろしくをお願いいたします。

「はじめまして」

眼科 広江 孝

4月より赴任してまいりました眼科の広江です。総合病院の眼科として、白内障手術はもちろんのこと、糖尿病網膜症のような全身疾患による眼合併症の管理など、皆さんと一緒に頑張っていきたいと思います。よろしくをお願いいたします。

治療に対する疑問や心配ごと、不安などありましたら遠慮なく申しつけ下さい。患者様の立場で対応いたします。



シリーズ「新病院建設」No.2

新病院建設事務局長 布施 正子

新病院建設は、基本設計を終え実施設計へと進んできています。この間、「医療施設耐震化臨時交付金申請」を行い、4月に入り群馬県より改めて「耐震化整備指定医療機関の指定」通知を頂きました。これにより、282床から253床の総合機能を有した病院となります。253床の内訳は、HC U（ハイケアユニット）12床を含む一般病棟220床、回復期リハビリ病棟33床です。患者さんの病態に合わせた医療、看護が展開できるよう、病院内の機能分化を図っていくこととなります。

また回復期リハビリ病棟では、地域の声に応えられるよう在宅復帰を見据えたりハビリ提供を充実すべく、セラピストの配置や病棟機能の充実を視野に建設を進めています。

寒かった冬を乗り越え、
きれいに咲きました。
患者様やそばを通る人々
の心の癒やしになって
います。

病院を飾る 花々たち



健康管理科入口に飾られ、
健診に訪れた方を和ませて
います





地域連携室

相談支援室より

4月より退院調整看護師が1名補充され2名となり、相談員3名・連携室事務2名の7名になりました。これからも皆様との連携を大切にしていきたいと思っておりますので、今後もよろしくお願い致します。